

健康部

概 要	- 1
沿 革	- 1
母子保健事業.....	- 2
成人保健事業.....	- 10
健康づくり支援.....	- 14
保健所運営協議会.....	- 19
地域医療検討委員会.....	- 19
応急診療所事業.....	- 21
歯科医療センター事業.....	- 21
三重北勢健康増進センター事業.....	- 22
学生実習.....	- 23
各種統計・報告.....	- 24
免許の申請・書き換え交付状況.....	- 25
病院・診療所立入検査.....	- 26
衛生検査所立入検査.....	- 26
医務	- 27
地域救急医療対策協議会.....	- 28
「1日看護体験」の実施.....	- 29
衛生検査.....	- 30
食品衛生.....	- 34
獣医務衛生.....	- 37
生活衛生.....	- 38
薬事及び献血.....	- 38
結核対策.....	- 42
地域精神保健福祉対策.....	- 45
難病対策.....	- 49
感染症対策.....	- 53
エイズ対策.....	- 55
医療費助成.....	- 56
栄養指導事業.....	- 57
食肉検査.....	- 59
国民健康保険.....	- 61
後期高齢者（長寿）医療制度.....	- 65
国民年金.....	- 66

概 要

四日市市は三重県の東北部に位置し、西は鈴鹿連峰、東は伊勢湾に面して北勢の中心を占めている。面積は、205.53k m²で、人口は、313,963人（平成21年4月1日現在）で三重県の総人口の16.84%をしめている。

平成19年11月21日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認され、平成20年4月1日より本市が保健所を運営することとなった。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬事、生活衛生などを所管することになり、総合的な健康行政が可能となった。またさらに福祉・医療・教育などと連携した保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かいサービスができることとなった。

沿 革

年 月 日	事 項
	【主な経緯】
平成10年4月1日	四日市市総合計画（1998-2010）に中核市移行を位置付け
平成16年3月9日	四日市市・楠町新市建設計画に中核市移行を位置付け
4月1日	市長公室政策課内に中核市準備室を設置
平成17年2月7日	楠町との合併により、中核市要件を満たす
11月22日	市長が20年4月の保健所政令市移行を目指すことを表明
平成19年10月21日	政令公布 保健所政令市の指定に関する政令が公布され、保健所の設置が承認
平成20年4月1日	保健所政令市移行に伴う機構改革により健康部が創設され保健所業務を所管する。

母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することを通して、母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図る。

交付状況（件数）

年度	交付数
平成 20 年度	3, 1 1 9
平成 19 年度	3, 0 5 3
平成 18 年度	3, 0 8 1

(2) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施することを通して、安全な分娩と健康な児の出生を支援する。（平成 19 年度まで妊娠前期、後期各 1 回であったが、平成 20 年度は 5 回に増加した）

受診者数（人）

年度	前期(18,19 年度)、1・5 回目(20 年度)				後期(18,19 年度)、2・3・4 回目(20 年度)			
	妊娠届出者数	受診者数	受診率(%)	HBs 抗原検査(再掲)	妊娠届出者数	受診者数	受診率(%)	35 歳以上の超音波検査(再掲)
平成 20 年度	2,994	5,679	94.8		2,994	10,386	115.6	
平成 19 年度	2,943	2,752	93.5	2,472	2,943	2,655	90.2	459
平成 18 年度	2,954	2,871	97.2	2,954	2,954	2,800	94.8	390

(3) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行う。年 12 回開催。

参加者数（人）

参加者	実人員（人）		
	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
妊婦	141	126	159
家族	106	82	118
合計	247	208	277

(4) プレママ栄養教室

妊婦とその家族を対象に、妊娠前からの栄養指導とぴよぴよクラブに参加し乳児とのふれあい体験を行うことにより、健全な母性の育成を図る。年間4回開催

参加者数(人)

年度	教室参加者	内ぴよぴよクラブへの参加者
平成20年度	61	51
平成19年度	72	54
平成18年度	50	40

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4ヶ月児、10ヶ月児を対象に、健康診査(医療機関に委託)を実施し、成長の確認とともに、障害を早期に発見し、適切な措置を行う。(各1回実施)

受診者数(人)

年度	4か月児			10か月児		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
平成20年度	2,923	2,803	95.9	2,847	2,532	88.9
平成19年度	2,920	2,776	95.1	3,023	2,788	92.2
平成18年度	2,980	2,844	95.4	2,883	2,604	90.3

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に、健康診査を実施し、心身障害の進行を未然に防止するとともに生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図る。年間6回開催。(日曜健診2か月に1回実施)

受診者数(人)

年度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)	日曜健診受診状況(再掲)		
			経過観察者数	経過観察率(%)		予約者数	受診者数	利用率(%)
平成20年度	2,910	2,827	441	15.6	97.1	132	129	4.6
平成19年度	2,963	2,835	484	17.1	95.7	127	120	4.2
平成18年度	2,888	2,781	438	15.7	96.3	156	141	5.1

(3) 3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、心身障害の進行を未然に防止するとともに生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図る。年間4回開催。(日曜健診2か月に1回実施)

受診者数（人）

年度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率（％）	日曜健診受診状況（再掲）		
			経過観察者数	経過観察率（％）		予約者数	受診者数	利用率（％）
平成 20 年度	2,833	2,619	173	6.6	92.4	207	192	7.3
平成 19 年度	3,075	2,815	222	7.9	91.5	222	203	7.2
平成 18 年度	3,108	2,857	178	6.2	91.9	249	234	8.2

（４）乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図る。必要な場合には専門機関の紹介を行う。

実施状況(人)

年度	心身の発達相談数	育児不安相談数	計
平成 20 年度	505	28	533
平成 19 年度	476	40	516
平成 18 年度	503	79	582

３）育児支援

（１）育児相談

乳幼児を対象に、育児・栄養・等に関する相談・指導を行い、発育発達支援及び育児支援を行う。年間 12 回開催

年度	実人員			延人員		
	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計
平成 20 年度	195	116	311	455	269	724
平成 19 年度	294	290	584	908	924	1,832
平成 18 年度	227	255	482	598	1,096	1,694

育児相談の相談数

（２）妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、必要な指導助言を行う。随時対応。

実施状況（人）

年度	総数	相談状況内訳		
		来所相談	電話相談 (希望)	保健所からの電話での 働きかけ
平成 20 年度	13,146	812	2,851	9,337
平成 19 年度	6,965	179	1,369	5,417
平成 18 年度	6,221	160	1,580	4,481

(3) 妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問により、妊娠、出産、育児等の支援をする。

(4) 新生児訪問指導

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問により、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援する。

(5) 乳幼児訪問指導

乳児一般健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、育児相談、電話相談等のフォロー-児を中心に日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援する。

訪問指導実施人数

訪問対象者	実人員			延人数		
	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
妊婦	22	19	9	27	22	9
産婦	1450	916	427	1468	927	427
新生児	207	110	65	243	141	65
(未熟児)	113	17	33	114	41	33
乳児	1357	1002	512	1499	1,035	707
幼児	150	136	309	373	238	544
その他	1	2	1	2	3	2
総計	3187	2,185	1,322	3612	2,366	1,754

(6) 乳児育児支援事業

生後4か月に達するまでの乳児及び保護者のうち、相談希望者や指導の必要がある方を対象に、電話や訪問による指導を通じて、育児支援を行う。

アンケート実施状況

年度	アンケート送付数	アンケート返送数 (訪問後アンケート返送含む)	アンケート回答内訳			アンケート返送者内訳	
			希望なし	電話相談希望者	家庭訪問希望者	初産	経産婦
平成20年度	2,767	2,115(625)	939	121	430	808	682
平成19年度	2,748	1,841(433)	915	112	381	740	668
平成18年度	2,991	1,072	590	112	370	570	502

(7) 乳幼児食教室

乳幼児の保育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援する。年間25回開催。

参加者数(人)

年度	前期(5~8ヶ月児)	後期(9~12か月児)	合計
平成20年度	424	293	717
平成19年度	373	267	640
平成18年度	349	235	584

4) 子育て支援

(1) 育児学級「びよびよクラブ」

1歳未満の児と保護者を対象に、気軽に集まれる場所を提供し、子どもとの触れ合い、親同士の情報交換、ネットワークづくりの援助、育児情報の提供を行い、育児不安の解消を図る。年12回開催。

参加者数(人)

年度	実人員	延人員	同伴者内訳			
			母親	父親	祖父母	兄弟
平成20年度	587	1,567	1,549	5	8	9
平成19年度	573	1,583	1,551	4	3	13
平成18年度	464	1,228	1,216	0	1	30

(2) 育児学級「わんぱくクラブ」

満1歳児と保護者を対象に、気軽に集まれる場所を提供し、子どもとの触れ合い、親同士の情報交換、ネットワークづくりの援助、育児情報の提供を行い、育児不安の解消を図る。年12回開催。

参加者数(人)

年度	実人員	延人員	同伴者内訳				
			母親	父親	祖父母	兄弟姉妹	その他
平成20年度	406	1,048	1,027	3	7	12	1
平成19年度	277	921	909	6	2	13	0
平成18年度	346	862	836	3	5	10	0

(3) 親子ふれあい教室「コアラ」

2歳児と保護者を対象に、気軽に集まれる場所を提供し、子どもとの触れ合い、親同士の情報交換、ネットワークづくりの援助、育児情報の提供を行い、育児不安の解消を図る。年間12回開催。

参加者数(人)

年度	総数	参加者内訳		
		幼児	母親	その他家族
平成20年度	519	233	231	55
平成19年度	714	341	337	36
平成18年度	629	300	299	30

(4) 親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞や育児不安が疑われる児と保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、子どもの発達を促す適切なかわり方を保護者が学ぶ機会とし育児不安の解消を図る。

親子教室「ラッコ」: 1歳6か月から2歳6か月頃の児。年間12回開催。

参加者数(人)

	発達	育児不安	計	同伴者	発達	育児不安	計	同伴者	
平成20年度	42	13	44	(46)	112	31	115	(127)	発達・育児不安重複あり
平成19年度	25	3	28	(30)	71	7	78	(78)	
平成18年度	50	2	52	(60)	133	5	138	(159)	

親子教室「イルカ」: 2歳6か月以上の幼児。年間12回開催。

参加者数(人)

年度	参加実人員			参加延人員			備考
	発達	育児不安	計(同伴者)	発達	育児不安	計(同伴者)	
平成20年度	26	3	27(29)	66	11	69(71)	発達・育児不安重複あり
平成19年度	20	1	21(22)	69	4	73(99)	
平成18年度	30	0	30(35)	71	2	73(83)	

(5) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、幼稚園、子育て支援センター、児童館身近な育児の交流の場において、保健師が関係者や民生委員などと連携し、育児支援をし、育児不安解消を図る。

参加者数(人)

事業名	20年度			19年度			18年度		
	参加回数	利用者数	相談者数	参加回数	利用者数	相談者数	参加回数	利用者数	相談者数
保育園遊ぼう会	38	962	155	52回	1,313人	180人	50回	886人	223人
幼稚園遊ぶ会	24	1227	97	28回	735人	90人	17回	592人	75人
子育て支援C(保育園併設型)	28	1042	140	15回	606人	77人	35回	726人	225人
子育て支援C(単独型)	14	866	112	8回	397人	66人	21回	766人	103人
民生委員児童委員主催等	23	1720	503	18回	1,116人	190人	21回	698人	175人
育児支援サポーター養成講座	2	41	3	4回	96人	9人	3回	81人	5人
計	129	5,858	1010	125回	4,263人	612人	147回	3,749人	806人

5) 子どもの歯を守るために

(1) 幼児歯みがき教室(歯八八の教室)

2歳6か月頃の児と保護者を対象に、虫歯予防の啓発と指導を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図る。年間25回開催。

参加者数(人)

	平成20年度	平成19年度	平成18年度
受講者	554	699	636

(2) 妊婦歯科教室(デンタルマタニティスクール)

妊産婦(概ね妊娠16週~24週)を対象に、歯の自己管理、子どもの歯の特性の啓発、歯口清掃などを行い、健全な歯の育成を支援する。年間13回開催。

参加者数(人)

	平成20年度	平成19年度	平成18年度
受講者	84	90	76

(3) 訪園はみがき教室

園児と保護者を対象に、訪園により児の歯科保健指導を行い、健全な乳歯及び永久歯の育成や口腔衛生の向上を図る。

実施状況

年度	保育園		幼稚園		参加保護者数
	訪園数	園児数	訪園数	園児数	
平成20年度	5	214	1	43	41
平成19年度	1	68	2	103	100
平成18年度	-	204	-	250	206

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行う。

教室は年1開催、随時啓発

参加者数(人)

年度	参加者数	参加者数内訳			
		乳児同伴	幼児同伴	妊婦のみ	保護者
平成20年度	40	12	7	0	21
平成19年度	47	16	5	0	26
平成18年度	65	26	6	0	33

7) 予防接種事業

(1) 予防接種者数と接種率について

		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
三種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風)	1期 1回目	3,000	99.2%	2,941	98.0%	2,937	103.2%
	1期 2回目	2,988	99.6%	2,915	99.8%	2,904	102.1%
	1期 3回目	2,954	98.5%	2,988	98.0%	2,867	100.8%
	1期 追加	2,745	99.6%	2,776	93.1%	2,927	101.6%
二種混合(ジフテリア、破傷風)		3,128	48.4%	2,112	68.9%	3,011	98.9%
ポリオ	1回目	2,900	99.6%	2,940	98.2%	2,714	94.2%
	2回目	3,130	99.9%	3,061	99.0%	2,801	97.3%
麻しん風しん混合(MR)	1期	2,961	96.9%	3,007	98.9%	2,789	100.1%
	2期	2,871	89.0%	2,957	92.8%	3,063	96.0%
	3期					2,776	90.2%
	4期					2,536	83.0%
麻しん	1期	0		0		0	
	2期	2		2		0	
	3期					0	
	4期					0	
風しん	1期	88		2		0	
	2期	12		9		0	
	3期					0	
	4期					1	
日本脳炎	1期 1回目	567	21.1%	2,495	81.5%	2,576	87.5%
	1期 2回目	597	22.2%	2,592	84.6%	2,559	87.0%
	1期 追加	671	52.1%	1,175	38.4%	2,064	68.3%
	2期	73	3.0%	343	10.7%	580	18.0%
	3期						
インフルエンザ	65歳以上	28,654	48.8%	32,921	54.1%	35,117	55.8%
	60~64歳	78	41.5%	115	57.2%	121	59.6%
合計		57,419		65,351		65,351	

* 平成17年5月末から厚生労働省の指導により、日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨中止

* 平成17年7月末から日本脳炎ワクチン第3期(中学生)接種の廃止

* 平成18年4月から麻しん・風しん混合ワクチンによる2回接種導入

(2) 結核対策について

	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
B C G	2,935	98.9%	2,803	96.7%	2,836	98.2%

成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

自らの健康管理と維持、適切な医療受診の支援を行う。

交付者数(人)

	交付数		
	平成 20 年	平成 19 年	平成 18 年
医療受給資格者 (75 歳以上または 65～74 歳の寝たきりの方)		2,051	622
40 歳以上で医療受給者以外の方		2,900	2,061
合計		4,951	2,683

*平成 20 年度より老人保健法から健康増進法移行により、医療受給者証は廃止。年齢別で交付数を記載。

	交付数
	平成 20 年
40 歳～74 歳	2043
75 歳以上	350
合計	2393

(2) 健康相談事業

心身の健康についての適切な指導・助言を行い、市民の健康保持増進を図る。

健康相談を実施した保健事業 所	実施回数	相談件数		
		平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
あさけプラザでの相談 保健センター等での相談	週 2 回	61	34	74
	随時	44	81	81
電話による健康相談 (ヘルシーダイアル等)	随時	25	41	66
健康教育と併設	随時	45	90	10
合計		175	246	231

(3) 検診(胃がん、子宮頸がん、大腸がん、乳がん、胸部、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診)

検診を実施することにより、疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につな
げ、疾患発症または重症化の予防を図る。

検診受診状況

区分	年度	40歳以上					40歳未満		
		対象者数	受診者数(人)				受診者数(人)		
			地区巡回	医療機関	合計	受診率	地区巡回	医療機関	合計
胃がん検診	20年度	71,228	3,505	6,840	10,345	14.5	226		226
	19年度	88,248	3,582	6,179	9,761	11.1	323		323
	18年度	87,027	3,227	6,065	9,292	10.7	259		259
乳がん検診	20年度	46,625	5,049		5,049	13.8	818		818
	19年度	46,196	4,545		4,545	9.8	712		712
	18年度	45,612	3,820		3,820	8.4	556		556
胸部検診	20年度	71,228	4,960		4,960	7.0	186		186
	19年度	88,248	4,579		4,579	5.2	204		204
	18年度	87,027	4,083		4,083	4.7	162		162

区分	年度	40歳以上				
		対象者数	受診者数(人)			
			地区巡回	医療機関	合計	受診率
大腸がん検診	20年度	71,228	4,117	6,850	10,967	15.4
	19年度	88,248	4,051	6,892	10,943	12.4
	18年度	87,027	3,559	6,491	10,050	11.5

区分	年度	20歳以上				
		対象者数	受診者数(人)			
			地区巡回	医療機関	合計	受診率
子宮頸がん検診	20年度	62,101	3,599	4,386	7,985	15.4
	19年度	69,010	3,362	4,070	7,432	10.8
	18年度	68,751	2,953	3,888	6,841	10.0

がん検診対象者数については20年度から、厚生労働省より提示のあった算出方法を採用。

区分	年度	対象者数	受診者数(人)			
			地区巡回	医療機関	合計	受診率(%)
肝炎ウイルス検査 (B型・C型)	20年度			255	255	
	19年度	16,561	709	2,590	3,299	19.9
	18年度	5,587	1,012	5,792	6,804	121.8

さわやか歯科検診(歯周病検診)受診者数

年度	対象者数	受診者数					
		40歳	50歳	60歳	70歳	合計	受診率
平成20年度	17,317	235	169	308	221	933	5.4
平成19年度	16,066	168	129	218	233	748	4.7
平成18年度	14,044	121	142	178	247	688	4.9

(4) 健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の40歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドローム早期発見・予防改善のための健診・保健指導を実施する。

健康増進法健康診査・保健指導受診状況〔平成20年度～〕

年度	健康診査(人)			保健指導					
				動機付け支援(人)			積極的支援(人)		
	対象者数	受診者数	受診率%	対象者数	受診者数	受診率%	対象者数	受診者数	受診率%
20年度	1,883	422	22.4	11	2	18.2	9	0	0

(5) 訪問事業

保健指導が必要であると認められる者及びその家族に対して、保健師等が訪問して健康問題を総合的に把握し、必要な保健指導を行い、これらの心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。

実施状況

	実人員			延人員		
	39歳以下	40～64歳	合計	39歳以下	40～64歳	合計
平成20年度	0	1	1	0	1	1
平成19年度	0	1	1	0	1	1
平成18年度	0	1	1	0	1	1

健康づくり支援

(1) 健康教育

一般市民を対象に、各種教室を行い疾病予防を図る。

実施状況

教室	回数	利用者数				
		年度	延べ	実人員		
				計	40歳以上	40歳未満
骨こつ教室	2回	平成20年度	96	96	96	0
	2回	平成19年度	124	124	124	0
	2回	平成18年度	110	110	110	0
生活習慣病 予防公開講 座		年度	延べ	実人員		
				計	40歳以上	40歳未満
	8回	平成20年度	348	104	104	0
	8回	平成19年度	342	116	115	1
	8回	平成18年度	358	121	120	1
レッツきら めく ボデ ィ教室		年度	延べ	実人員		
				計	40歳以上	40歳未満
	27回	平成20年度	303	41	41	0
	34回	平成19年度	554	59	554	0
	28回	平成18年度	685	51	51	
乳がん予防 健康教育		年度	延べ	実人員		
				計	40歳以上	40歳未満
	59回	平成20年度	5,867	5,867	5,049	818
	57回	平成19年度	5,257	5,257	4,545	712
	54回	平成18年度	4,376	4,376	3,820	556
いきいき栄 養教室		年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	7回	平成20年度	69	69	67	2
	6回	平成19年度	79	79	79	0
	7回	平成18年度	87	87	84	3

(2) 健康講座

一般市民を対象に、健康への意識向上のため講座を行う。

実施状況

出前講座	回数	年度	延べ	実人員		
				計	40歳以上	40歳未満
	73回	平成20年度	2,706	2,706	2181	525
	79回	平成19年度	2,355	2,355	2,233	122
	95回	平成18年度	3,599	3,599	3,588	11
地区及び各種団体等からの依頼		年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	14回	平成20年度	500	500	325	175
	26回	平成19年度	1,355	1,355	1,339	16
	20回	平成18年度	994	994	994	
こころゆるやか講座		年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	2回	平成20年度	122	78	74	4
	2回	平成19年度	150	114	97	17
	10回	平成18年度	171	171	127	44
心の健康づくり公開講座		年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	1回	平成20年度	198	198	198	0
	1回	平成19年度	158	158	148	10
	8回	平成18年度	146	146	141	5

(3) 生活習慣病予防・健康増進講座

生活習慣病予防健康増進教室・講座実施状況

教室	実施回数	利用者数				
		年度	延べ	実人員	子供	親等
親子ヘルシー教室	24回	平成20年度		578	334	244
	24回	平成19年度		548	310	238
	24回	平成18年度		551	324	227
		平成20年度				
ITでシェイプアップ教室	3回	平成19年度	42	14	42	0
	5回	平成18年度	110			
		平成20年度				
		平成19年度				
団塊世代心身パワーアップ教室	17回	平成20年度	190	13	13	0
	17回	平成19年度	216	16	16	0
		平成18年度				
		平成19年度				

健康のためのシェイプアップ教室	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	11回	平成20年度	81	9	7	2
	17回	平成19年度	254	18	17	1
	16回	平成18年度	283	19	17	2
ミラクルボディ教室	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	6回	平成20年度	187	51	48	3
保健事業支援講座	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	2回	平成20年度	67	67	25	42
	2回	平成19年度	86	86	29	57
	1回	平成18年度	39	39	14	15
公園DEエクササイズ	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	20回	平成20年度	465	64	64	0
	18回	平成19年度	342	55	342	0
	回	平成18年度				

(4) ボランティア養成

健康ボランティア養成講座

教室	回数	利用者数				
		年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
ステキ健康サポーター養成講座	8回	平成20年度	152	22	22	0
	7回	平成19年度	229	44	44	0
	9回	平成18年度	457	101	101	0
	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
ステキ健康サポーター育成講座	8回	平成20年度	185	34	34	0
	8回	平成19年度	352	52	52	0
	回	平成18年度				
	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
リスナー傾聴者養成研修会	5回	平成20年度	129	29	29	0
	5回	平成19年度	128	27	25	0
	5回	平成18年度	74	15	10	5
	実施回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
食生活改善推進員養成事業(栄養教)	9回	平成20年度	140	29	25	4

室)	5回	平成19年度	128	28	25	3
	9回	平成18年度	257	29	29	0
食生活改善 推進員育成 事業(ステッ プアップ栄 養教室)	実施 回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	8回	平成20年度	207	26	26	
	7回	平成19年度	169	27	27	0
	回	平成18年度				
ヘルスリー ダー養成講 座(初心者)	実施 回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	7回	平成20年度	47	7	7	0
	7回	平成19年度	124	17	17	0
	7回	平成18年度	149	23	22	1
ヘルスリー ダー育成講 座(フォロー アップ)	実施 回数	年度	延べ	実人員	40歳以上	40歳未満
	27回	平成20年度	391		391	0
	27回	平成19年度	329		329	0
	17回	平成18年度	263		263	0

3) 介護予防事業

〔一般高齢者施策 介護予防普及啓発事業〕

(1) 出前講座

65歳以上の方を対象に、健康が維持されるよう、認知症や閉じこもり予防などの介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。

開催回数・利用者数は再掲

年度	開催場所	開催回数	延利用者数	平均利用者数
平成20年度	地区市民センター等	48回	1645	34.3
平成19年度	地区市民センター等	53回	1,550	29.2
平成18年度	地区市民センター等	70回	2477	35.4

(2) 健康相談

65歳以上の方を対象に、健康づくりや認知症や閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行う。

健康相談を実施した保健事業		相談件数 (人)		
		平成20年度	平成19年度	平成18年度
来所	あさけプラザにおける相談	4,094	4,301	3,954
	保健センター等での相談	380	481	552
電話による健康相談(ヘルプダイヤル等)		234	181	212
健康教育と併設		148	190	215
合計		4,856	5,153	4,933

(3) 訪問事業

65歳以上の方を対象に、健康づくりや認知症や閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行う。

年度	実人員(人)			延人員(人)		
	閉じこもり予防	その他	計	閉じこもり予防	その他	計
平成20年度	28	1	29	108	1	109
平成19年度	45	1	46	136	2	138
平成18年度	34	1	35	212	1	213

〔一般高齢者施策 地域介護予防活動支援事業〕

おおむね65歳以上の方を対象に、健康維持、介護予防のための実践教育を行う。

実施状況

教室	実施回数	利用者数				
		年度	延べ	実人員	65歳以上	65歳未満
お達者クラブ・出張お達者クラブ	数					
	718回	平成20年度	14,814	2,113	13,727	1,087
	527回	平成19年度	12,219	1,623	11,238	981
	476回	平成18年度	10,159	1,518	9,031	1,128
ドレミでワッショイ(一般高齢者)	実施回数	年度	延べ	実人員	65歳以上	65歳未満
	9回	平成20年度	226	226	214	12
	9回	平成19年度	387	387	360	27
お達者クラブの中で実施、数字は再掲	8回	平成18年度	275	275	250	25
熟年元気いっぱい運動教室	実施回数	年度	延べ	実人員	65歳以上	65歳未満
	11回	平成20年度	131	13	13	0
	17回	平成19年度	231	16	16	0
	16回	平成18年度	485	37	37	0
元気で長生き料理教室	実施回数	年度	延べ	実人員	65歳以上	65歳未満
	25回	平成20年度		536	295	241
	25回	平成19年度		518	279	239
	25回	平成18年度		541	293	248
ヘルシーターによるイキイキ教室	実施回数	年度	延べ	実人員	65歳以上	40~64歳
	24回	平成20年度	646	646	646	0
	24回	平成19年度	635	635	524	111
	24回	平成18年度	661	661	661	0

保健所運営協議会

四日市市の地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後の保健所の運営に反映していく目的で協議会を開催した。

1) 開催状況

回数	開催日	議 事
第1回	平成20年8月6日	1. 四日市市保健所移行後の現状と課題について
第2回	平成21年3月23日	1. 平成20年度四日市市保健所の取組について 2. 平成21年度四日市市保健所事業について

地域医療検討委員会

1) 四日市市地域医療検討委員会

在宅医療を中心とした地域医療の推進について積極的に取り組むべく検討を行い、平成20年度末に中間報告「在宅医療の課題と今後の方向性」のとりまとめを行った。

開催状況

回数	開催日	議 事
第1回	平成20年10月6日	1. 四日市市の医療・介護の現状について 2. 脳卒中在宅医療推進部会の設置について
第2回	平成20年12月1日	1. 本市の在宅医療の取り組み状況 (1) 在宅医療推進委員会の取組の紹介 (2) 福祉サイドからの取組の紹介 2. 疾患別の在宅医療の検討事項 (1) 脳卒中対策について (2) がん対策について 北勢緩和ケアネットワークの取り組み (3) 急性心筋梗塞対策について (4) 糖尿病対策について (5) 認知症対策について
第3回	平成21年1月21日	1. 地域医療の検討事項 (1) 周産期医療対策 (2) 小児救急を含む小児医療対策 (3) 救急医療対策 (4) 災害対策医療 2. 地域医療(在宅医療)の課題等の把握について 3. 在宅医療の課題と今後の方向性
第4回	平成21年3月15日	シンポジウム 「四日市市の在宅医療の推進に向けて」 1. 講演「在宅医療のグランドデザイン」 講師：仙台往診クリニック

		院長 川島 孝一郎先生 パネルディスカッション 「四日市市の在宅医療の推進に向けて」
第5回	平成21年3月31日	1. 地域医療検討委員会の中間報告について

2) 脳卒中在宅医療推進部会

個別課題の検討を行うために地域医療検討委員会の部会として脳卒中在宅医療推進部会を設置した。

開催状況

回数	開催日	議 事
第1回	平成20年11月7日	1. 講演「地域ケアの確立に向けて」 講師：三重県長寿社会室長 吉田一生
第2回	平成20年12月18日	1. 在宅医療の取り組み紹介 2. 四日市・菰野地区リハビリテーションネットワーク活動の紹介 (市立四日市病院、神経内科部長、家田俊明) 3. 脳卒中医療福祉連携 県単位の話を中心に (七栗サナトリウム病院 院長 園田茂)
第3回	平成21年2月13日	1. 脳卒中在宅医療推進部会の経緯について 2. 四日市市における脳卒中ケア体制の現状と課題について 3. 脳卒中ケア体制の推進に向けた今後の方向性について 4. 情報提供 (1) 在宅医療のアンケート調査について(四日市医師会) 5. 在宅医療研修プログラム作業部会の設置について

応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行う。

診療日及び診療受付時間

日曜日、祝（休）日、12月31日、1月2日、3日

午前9時30分～午後4時

診療科目

内科、小児科、耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科は日曜日のみ）

1) 受診状況

年度	内科	小児科	耳鼻科	計	一日平均
					()は診療日数
平成20年度	738	1,547	330	2,615	37.8(69日)
平成19年度	808	1,969	305	3,082	43.4(71日)
平成18年度	670	1,676	337	2,683	39.4(68日)

歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行う。

診療日及び診療受付時間

応急診療

年末年始 12月30日、12月31日、1月2日、1月3日

(午前9時00分～午前11時30分)

障害者（児）診療

火、木曜日（午後1時30分～午後4時30分）

(予約制) 第3日曜日（午前9時30分～午後0時30分）

祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

1) 受診状況

年度	休日診療			障害者診療			
	診療実日数(日)	受診者数(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	受診者数(人)		一日平均(人)
					延数	新患再掲	
20年度	4	54	13.5	90	1,259	316	14.0
19年度	7	59	8.4	90	1,229	235	13.7
18年度	7	59	8.4	91	1,297	193	14.3

三重北勢健康増進センター事業

利用状況と推移（人）

区 分		H18 年度	H19 年度	H20 年度	対前年度比	
運動施設個人使用		実績	実績	実績	増減	
プー ル	一般	33,369	28,441	30,216	1,775	106.2%
	65 歳以上	14,238	13,674	13,626	-48	99.6%
	中学生以下	13,236	12,479	15,483	3004	124.1%
	小計	60,843	54,594	59,325	4,731	108.7%
トレ ー ニ ン グ ジ ム	一般	15,539	13,646	11,067	-2,579	81.1%
	65 歳以上	5,547	5,439	6,778	1339	124.6%
	小計	21,086	19,085	17,845	-1,240	93.5%
ラン ニ ン グ ト ラ ッ ク	一般	4,936	5,640	6,202	562	110.0%
	中学生以下	1,341	2,127	2,044	-83	96.1%
	小計	6,277	7,767	8,246	479	106.2%
グラ ウ ン ド ゴ ル フ 場	一般	6,105	5,821	5,564	-257	95.6%
	中学生以下	164	156	123	-33	78.8%
	小計	6,269	5,977	5,687	-290	95.1%
計		94,475	87,423	91,103	3,680	104.2%

健康度測定	118	97	99	2	102.1%
-------	-----	----	----	---	--------

総合体力測定	1,191	1,099	940	-159	85.5%
--------	-------	-------	-----	------	-------

運動実践指導	4,317	3,566	4,137	571	116.0%
--------	-------	-------	-------	-----	--------

健康教室	シリーズ型	3,229	1,976	2,287	311	115.7%
	1 回型	39	86	92	6	107.0%
計		3,268	2,062	2,379	317	115.4%

障害児等機能回復訓練	2,055	1,807	1,696	-111	93.9%
------------	-------	-------	-------	------	-------

利用者合計	105,424	96,054	100,354	4,300	104.5%
-------	---------	--------	---------	-------	--------

運動施設専用使用	17,784	18,765	22,781	4016	121.4%
----------	--------	--------	--------	------	--------

会議施設使用	12,170	15,682	14,305	-1377	91.2%
--------	--------	--------	--------	-------	-------

学生実習

地域保健活動の中核として、保健所は保健・医療・福祉分野に従事する人材育成の一端を担っている。

学校名	実習生数	実習期間	実習内容
四日市看護医療大学	16人	7月29日(1日間) 7月30日(1日間)	ポリオ 保健センター・体力測定・健康増進センター おもちゃ図書館(いづれも見学)
市立四日市高等看護学院	6人	4月24日 5月8日	
四日市医師会看護専門学校	12人 38人	{ 6月16日~6月22日 6月23日~6月22日 6月30日~7月4日 7月7日~7月11日 { 3月9日 13人 3月10日 12人 3月13日 13人	ポリオ・体力測定・おもちゃ図書館・運動実践指導・1歳6ヶ月児健診 お達者くらぶ/体力測定
三重県看護協会	3名	10月22日	お達者くらぶ
名古屋学院大学	1名	8月18日~8月22日	いきいきフレッシュクラブ 障害リハ見学 お達者くらぶ

各種統計・報告

1) 母体保護統計

母体保護に関する諸施策推進のために、不妊手術及び人口妊娠中絶の実施状況を把握する。

人工妊娠中絶届出数（年齢別・在胎週別）（平成 20 年度）

年齢別 在胎週別	総数	20歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	不詳
総数	695	61	135	144	166	126	53	10	0	-
満7週以内	482	37	87	109	118	89	36	6	0	-
8～11週以内	179	17	45	29	39	32	13	4	0	-
12～15週以内	17	4	0	5	5	2	1	0	0	-
16～19週以内	9	3	2	1	1	1	1	0	0	-
20～21週以内	8	0	1	0	3	2	2	0	0	-

2) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ることを目的に、衛生行政の実態を把握する。

3) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的な推進を行っていくための基礎資料を得ることを目的に

4) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握する。

5) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために、3年毎に静態調査、月毎に動態調査を実施する。

免許の申請、書き換え交付状況

医師、歯科医師その他の保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行った。

平成 20 年度

	計	新規申請	書き換え	再交付
合 計	498	268	204	26
医 師	21	16	4	1
歯 科 医 師	2	1	1	
保 健 師	29	15	14	
助 産 師	3	2	1	
看 護 師	227	109	109	9
准 看 護 師	49 (4)	6	31 (2)	12 (2)
歯 科 技 工 士	3	2	1	
栄 養 士	55	41	11	3
臨 床 検 査 技 師	17	12	5	
衛 生 検 査 技 師	1	1		
診 療 放 射 線 技 師	5	5		
理 学 療 法 士	21	19	2	
作 業 療 法 士	19	15	3	1
薬 剤 師	28	10	18	
管 理 栄 養 士	15	12	3	
視 能 訓 練 士	3	2	1	

病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院及び診療所に対して、立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行った。

1) 病院・診療所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

(平成20年度)

病院(毎年実施)			診療所(5年に1度実施)		
対象数	実施数	実施率	対象数	実施数	実施率
13	13	100	391	83	21.2

(2) 病院立入実施結果(指示・指摘内容)

指摘内容	不備件数	不備率
医療安全管理体制の整備	12	92.3
医療従事者に対する健康診断の実施	7	53.8
医療従事者の不足	1	7.7

(3) 診療所立入実施結果(指示・指摘内容)

指摘内容	不備件数	不備率
医療安全管理体制の整備	38	45.8
医療従事者に対する健康診断の実施	39	47.0
業務委託	16	19.3

衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行った。

医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行った。

1) 市内医務施設数

平成 21 年 3 月末現在

	病 院	一般診療所	歯科診療所	歯科技工所	助産所	施 術 所	合 計
20 年度	13	247	157	40	4	209	670
19 年度	13	244	155	41	4	205	662

2) 確認検査と開設・廃止状況(件数)

平成 21 年 3 月末現在

	確 認 検 査	開 設 許 可	開 設 届	廃 止	使 用 許 可
病 院	6	0	0	0	29
一 般 診 療 所	15	4	9	6	3
歯 科 診 療 所	7	1	6	4	0
歯 科 技 工 所	1	0	1	2	0
助 産 所	0	0	0	0	0
施 術 所	5	0	8	4	0
総 数	34	5	24	16	32

3) 市内病院及び許可病床数(一般診療所の療養病床: 33床)

平成 21 年 3 月末現在

	許可病床数						総 数
	一 般	療 養	精 神	結 核	感 染		
三重県立総合医療センター	442				4	446	
市立四日市病院	566				2	568	
四日市社会保険病院	235					235	
みたき総合病院	74	88				162	
主体会病院	105	123				228	
小山田記念温泉病院	222	168				390	
二宮病院		38				38	
富田浜病院	62	83				145	
総合心療センターひなが			555			555	
山中胃腸科病院	93					93	
石田胃腸科病院	38					38	

水 沢 病 院		38	196			234	
四 日 市 青 洲 病 院		30				30	
四 日 市 市 計	1837	568	751		6	3162	

地域救急医療対策協議会

1) 四日市地域救急医療対策協議会

四日市地域内の救急搬送・救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議し、地域の実情に即した体制の整備の推進を図るとともに、感染症などの健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、平常時からの連携体制を確保することを目的として協議会を開催した。

開催状況

回 数	開 催 日	議 事
第 1 回	平成 20 年 7 月 10 日	1. 四日市地域救急医療対策協議会会則改正について 2. 気管挿管実習受講申請にかかる承認について 3. 救急隊員が行った救急活動の事後検証実績報告について 4. 四日市地域版プロトコルの改正について 5. 市立四日市病院の救急救命センター指定について 6. 災害時における地域災害医療システムの構築について 7. 感染症危機管理対策について
第 2 回	平成 20 年 9 月 22 日	1. 新型インフルエンザ対策部会の設置理由について 2. 四日市地域における災害医療対策部会の設置理由について 3. 新型インフルエンザ対策・災害医療対策部会の設置要綱について
第 3 回	平成 21 年 3 月 25 日	1. 救急隊員が行った救急活動の事後検証実績報告について 2. 気管挿管実習受講申請書の承認について 3. メディカルコントロール協議会(作業部会)報告について 4. 新型インフルエンザ対策部会報告について 5. 災害医療対策部会報告について 6. 救命救急センターの指定について

2) 新型インフルエンザ対策部会

四日市地域救急医療対策協議会の部会として、平成 20 年度に設置。新型インフルエンザ健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、平常時からの連携体制を確保することを目的として開催した。

開催内容

回数	開催日	議 事
第1回	平成20年10月8日	1.新型インフルエンザ対策部会の設置について 2.新型インフルエンザの現状について 3.医療提供体制の構築について
第2回	平成20年11月6日	1.新型インフルエンザ対策部会設置要綱の改正について 2.四日市社会保険病院の取り組みについて 3.訓練について 4.意見交換
第3回	平成20年12月4日	1.四日市社会保険病院で行った訓練の報告について 2.第10回新型インフルエンザ専門家会議を受けての医療体制の考え方について 3.各機関の取り組みと情報交換について
第4回	平成21年1月22日	1.「四日市市新型インフルエンザ対策行動計画」について 2.三重県の新型インフルエンザ対策の現状について 3.県立総合医療センターの訓練について

3) 災害医療対策部会

四日市地域救急医療対策協議会の部会として、平成20年度に設置。四日市地域の実情に即した災害発生時における医療体制整備を目的として開催した。

開催内容

回数	開催日	議 事
第1回	平成20年11月14日	1.災害医療対策部会の設置について 2.医療提供体制の構築について
第2回	平成21年1月15日	1.今後の災害医療対策部会の進め方について 2.災害医療における情報の収集・共有・提供について

「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供した。

10校 延べ79人参加

衛生検査

食品衛生関係検査

規格基準検査(生食用魚介類、魚肉練り製品、生食用かき、食肉製品)

指導基準検査(豆腐、生菓子、惣菜)

検体種別	検体数	検査項目数	内 訳								
			一般細菌数	大腸菌群数	大腸菌	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	ビブリオ	(ビブリオ) 最確数	(大腸菌) 最確数	
生食用魚介類	25	75	25	0	25	0	0	0	0	25	0
魚肉練り製品	8	16	8	8	0	0	0	0	0	0	0
生食用かき	2	6	2	0	0	0	0	0	0	2	2
食肉製品	10	30	0	0	9	10	10	0	0	0	1
豆腐	25	75	25	25	25	0	0	0	0	0	0
生菓子	25	112	25	25	25	25	12	0	0	0	0
加工品(煮だこ)	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
惣菜	80	400	80	80	80	80	80	0	0	0	0
保存食	5	25	5	5	5	5	5	0	0	0	0
拭き取り	49	233	49	49	49	43	43	0	0	0	0
計	230	973	219	192	218	163	150	1	27	3	

食中毒及び有症苦情の微生物検査

月	日	検出菌またはウイルス 他	検査 項目数	内 訳			
				便	食品	拭き取り	吐物
4	10	検出せず	14	1			
	20	検出せず	448	10	2	20	
	23	検出せず	10			10	
	29	検出せず	14	1			
5	1	検出せず	14	1			
	7	検出せず	196		4	10	
	19	検出せず	14		1		
	28	黄色ブドウ球菌 (sea)	238	6	1	10	
	29	黄色ブドウ球菌 (sec)	322	9		14	
6	10	検出せず	14	1			
	18	ウェルシュ菌	14	1			

7	14	検出せず	28	1	1		
	29	検出せず	28	2			
	30	カビ ^o カ ^o ク ^o ジ ^o エ ^o ユ ^o ニ	42	3			
	30	カビ ^o カ ^o ク ^o ジ ^o エ ^o ユ ^o ニ	322	13		10	
8	18	検出せず	14		1		
	20	サルモネラ インファンティス	28	2			
	27	サルモネラ インテリゲ イス	19	7		12	
10	16	カビ ^o カ ^o ク ^o ジ ^o エ ^o ユ ^o ニ	15	1			
	16	検出せず	1		1		
	21	検出せず	420	7	5	15	1
	28	検出せず	15		1		
11	18	検出せず	8		4	4	
12	23	ノロウイルス(G)	32	4			
3	10	ノロウイルス(G)	64	8			
	12	規格基準適合	2		1		
	13	ノロウイルス(G)	343	13	2	6	
	14	ノロウイルス(G)	5	5			
	23	ノロウイルス(G)	15	1			
	30	規格基準適合	4		2		
計			2703	97	26	111	1

* ノロウイルスは 10 月より四日市市保健所にて実施

感染症発生時及検疫通報時の防疫検査

月	日	項目	検 体		
			腸管出血性大腸菌	便	食品
4	22	1			1
	23	1	1		
	24	1			1
	25	1	1		
	25	1	1		
	25	1	1		
	25	1	1		
	28	1	1		
5	1	1	1		
	15	3	3		
	16	1	1		
	16	1	1		
	19	1	1		

	26	1	1		
	15	1			1
8	15	1	1		
	18	1	1		
	28	4	4		
	30	1	1		
10	21	1	1		
	22	1	1		
	23	1	1		
	24	1	1		
	29	2	2		
	31	1	1		
	31	1	1		
	26	3	3		
	27	1	1		
	29	1	1		
30	1	1			
11	4	1	1		
計		39	36	0	3

レジオネラ検査

年月日		項目 数	検体名		
月	日		浴槽水	環境水	臨床検体
12	16	4	2	2	
	24	3	3		
計		7	5	2	0

感染症血清学的検査

月	検査項目数	内 訳				
		HIV	HCV	HBsAg	STS	TP
4	150	26	44	30	25	25
5	136	25	32	31	24	24
6	255	51	54	50	50	50
7	170	33	38	37	31	31
8	151	31	30	30	30	30
9	105	21	21	21	21	21
10	157	31	32	32	31	31
11	163	32	34	33	32	32

12	293	59	58	58	59	59
1	274	56	53	53	56	56
2	317	63	64	64	63	63
3	254	50	52	52	50	50
計	2425	478	512	491	472	472

毒物迅速検査

平成 20 年度

月	日	材料	検査 項目 数	内 訳				
				ヒ素 化合物	シアン 化合物	亜硝酸塩	硝酸塩	コリンエステ ラーゼ阻害剤
1	16	スナック エンドウ	5	1	1	1	1	1
計			5	1	1	1	1	1

食 品 衛 生

食品衛生法第 52 条による許可営業施設 5,819 施設と、許可を要しない施設 3,028 施設の合計 8,847 施設に対して、3,740 件の監視指導を実施し、食品取扱者及び消費者に衛生教育を実施した。

また、食品衛生指導員による自主管理を推進し、食中毒の予防に努めた。

食品衛生月間（8月）には、街頭でパンフレットを配り、食品衛生の啓発に努めた。

1) 食品施設数及び監視状況

(1) 要許可施設

平成 20 年度

業 種 \ 項 目	施設数	監視数	監視率 (20年度)	監視率 (19年度)
総 数	5,819	2,651	45.6	43.2
飲 食 店 営 業	3,333	1,291	38.7	38.8
菓 子 製 造 業	315	430	136.5	63.9
乳 処 理 業	-	-	-	-
乳 製 品 製 造 業	2	0	0	216.7
魚 介 類 販 売 業	355	301	84.8	86.9
魚 介 類 せ り 売 業	4	19	475.0	900.0
魚 肉 練 製 品 製 造 業	1	1	100.0	20.0
食 品 冷 凍 冷 蔵 業	26	13	50.0	155.6
かん詰びん詰製造業	11	5	45.5	58.3
喫 茶 店 営 業	718	147	20.5	8.3
あ ん 類 製 造 業	2	1	50.0	0
アイスクリーム類製造業	79	37	46.8	25.9
乳 類 販 売 業	443	142	32.1	37.0
食 肉 処 理 業	31	23	74.2	69.7
食 肉 販 売 業	323	142	32.1	53.0
食 肉 製 品 製 造 業	4	4	100.0	40.0
乳酸菌飲料製造業	-	-	-	-
食用油脂製造業	3	1	33.3	66.7
み そ 製 造 業	8	2	25.0	8.3
しょう油製造業	5	0	0	0
ソース類製造業	6	3	50.0	175.0
酒 類 製 造 業	6	1	16.7	0
豆 腐 製 造 業	10	21	210.0	133.3
め ん 類 製 造 業	34	14	41.2	25.6
そうざい製造業	52	37	71.2	73.2
添 加 物 製 造 業	30	6	20.0	67.6
清涼飲料水製造業	7	0	0	44.4

氷雪製造業	3	0	0	766.7
氷雪販売業	8	0	0	20.0

旅館業	106	20	18.9	39.8
-----	-----	----	------	------

(2) 不要許可施設

		施設数	監視数	監視率% (20年度)	監視率 (19年度)
総数		3,028	1,089	36.0	30.2
給食	学校	73	21	28.8	4.7
	病院・診療所	62	11	17.7	28.2
	事業所	177	1	0.6	1.1
	その他	114	37	32.5	59.8
乳さく取業		-	-	-	-
食品製造業		388	37	9.5	29.2
野菜・果物販売業		440	249	56.6	82.6
そう菜販売業		206	202	98.1	48.4
菓子販売業		759	335	44.1	15.3
食品販売業		803	195	24.3	15.3
添加物製造業		5	1	20.0	14.3
添加物販売業		1	0	0	0

2) 食品施設の査定及び監視結果

許可有効期間査定制度に基づく許可施設の査定を実施した。また、食品関係営業による事故発生防止のため、食品衛生監視員(11名)による監視を実施した。

- ・実施期間：平成20年4月1日～平成21年3月31日
- ・監視施設：3,740施設
- ・指導事項：

営業許可の確認(無許可、期限切れ)	手洗設備の消毒液の補充
健康診断の受診励行	冷凍庫・冷蔵庫の温度管理、衛生管理
施設の整理整頓、清潔の保持	原材料の品質管理

3) 食中毒発生状況

(1) 管内発生状況

発生年月	原因施設	患者数	原因食品	原因物質
H20.7	飲食店	9	不明	カンピロバクター

(2) 管内での食中毒関連調査

調査件数	8
------	---

(3) 管外から調査依頼のあった食中毒関連調査

調査件数	5
------	---

4) 食品の収去検査結果

	検体件数(実数)	不良検体(実数)	検査延件数	規格基準違反	市指導基準不適
乳以外の食品等	239	18	1,327	1	17
乳	2	0	12	0	
保存食	5				
器具等拭取り	63				
拭取り(ATP)	209				

5) 食品衛生監視状況

食中毒発生予防のため、特に管理が必要な学校給食等の集団給食施設及び大量調理施設等重要施設の監視指導を実施するとともに、重要施設の収去検査や違反食品の調査等を実施し、併せて集団給食調理従事者等を対象に食品衛生講習会を開催した。

また、市場に流通する食品の監視及び取扱いを指導し、食品に起因する危害の発生の未然防止に努めた。

(食品衛生講習会開催の状況)

開催回数	47回
受講対象者数	食品営業関係者、福祉・教育施設給食関係者、消費者等
受講延べ人数	1,798人
受講内容	・集団食中毒の予防 ・給食施設における衛生管理

6) 魚介類行商営業者状況

	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
営業者数	4	6	8	8	8

7) 調理師免許試験状況及び養成施設卒業状況

調理師試験及び免許に関する事務手続きを実施しました。

平成20年度

願書提出者数	免許申請者数新規	免許申請者数再交付	免許申請者数書換え
71人	202人	19人	25人

8) 製菓衛生師免許試験状況

製菓衛生師試験及び免許に関する事務手続きを実施した。

平成20年度

願書提出者数	免許申請者数新規	免許申請者数再交付	免許申請者数書換え
55人	37人	0人	0人

獣 医 務 衛 生

開業獣医師の協力を得て、畜犬登録・狂犬病予防注射及び犬の捕獲等を行い、狂犬病の発生予防に努めた。(犬の登録事務及び狂犬病予防注射関係事務は、生活環境課が平成12年度より行っている。)

また、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行った。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況

	登 録 数			注 射 頭 数		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
登録頭数	21,094	21,617	21,740			
新規登録数	1,737	2,704	1,931			
総注射頭数				14,747	20,066	15,589
集合注射頭数				3,617	3,365	3,161
家庭注射頭数				11,130	16,701	12,428

2) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況

	犬				猫		
	捕獲頭数	引取頭数	返還頭数	処分頭数	引取頭数	返還頭数	処分頭数
平成20年度	108	101	70	139	517	3	514
平成19年度	176	56	60	172	466	0	466
平成18年度	193	87	45	235	655	4	651

3) 畜犬及び猫の苦情・問い合わせ状況

区 分	件 数	区 分	件 数
放し飼いについて	65	飼い犬等引取について	170
糞尿公害について	116	死亡犬・猫収容依頼について	132
鳴き声公害について	72	負傷犬・猫保護依頼について	55
咬傷事故に関すること	52	犬登録・狂犬病予防注射について	84
野犬等捕獲依頼について	161	犬譲渡依頼について	169
失踪・拾得犬・猫照会について	776	その他	414
総 数		2,266 件	

4) 動物取扱業届出数及び監視状況

	総施設数						計
		販売	保管	貸出	訓練	展示	
登録数	70	52	32	3	10	4	101
監視数	35	24	21	1	5	2	52

5) 動物による咬傷事故状況

	犬	犬以外
届出数	18	0

6) 特定動物飼養状況

該当なし

生活衛生

旅館業、公衆浴場、興行場、理容業、美容業、クリーニング業等、日常生活に密着した営業に対して、その衛生水準の確保と向上を目指して、営業の許可・確認検査及び監視指導を行った。

1) 営業施設数及び監視件数等の状況

平成 20 年度

	施設数	監視件数	開設数
			廃止数
総数	1,283	260	30
			36
理容所	297	85	4
			6
美容所	545	65	16
			11
クリーニング所	382	79	4
			15
公衆浴場	50	25	4
			4
興行場	9	6	3
			1

薬事及び献血

1) 不正大麻・けし撲滅運動

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、市民に対しポスター、リーフレット（厚生労働省編、けし・大麻の見分け方）による啓発を図るとともに、その発見に努めた。

管内における自生けしの発見は 92 地域、27,398 本あり、除去焼却した。

不正大麻・けし撲滅運動期間：平成 20 年 4 月 1 日～6 月 30 日

2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物クリーンみえ推進キャンペーンを実施した。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間：平成 20 年 6 月 20 日～7 月 19 日

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン：平成 20 年 7 月 13 日

富洲原小学校校庭にて薬物乱用防止キャラバンカーを配置し、乱用薬物に関するパネルコーナーを設け、啓発活動を実施した。

参加者：850人（地域住民、スタッフ15団体含め）

3) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動

麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間：平成20年10月1日～11月30日

(1) 近鉄四日市駅構内ふれあいモールにおいて啓発用物品の配付を行った。

：平成20年10月17日

(2) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動三重大会を実施した。（参加者1345名：保健所職員含む）

日時：平成20年11月9日 場所：四日市市文化会館 第1ホール

4) 献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及・啓発に努めた。

(1) 愛の血液助け合い運動（平成20年7月1日～平成20年8月31日）

街頭ページェント

実施月日：平成20年7月29日

実施場所：近鉄四日市駅北口ふれあいモール

内 容：啓発資材の配付及び街頭献血の実施。

(2) クリスマス献血キャンペーン（平成20年12月1日～平成20年12月31日）

街頭啓発及び街頭献血

実施月日：平成20年12月21日

実施場所：(株)日永カヨーショッピングセンター

(3) はたちの献血キャンペーン（平成21年1月1日～平成21年2月29日）

街頭啓発及び街頭献血

実施月日：平成21年1月29日

実施場所：近鉄四日市駅北口ふれあいモール

(4) 献血状況

平成20年度

	献 血 協 力 者 実 績		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
四日市市	0	0	5,481
サンセリテ	12,242	0	1,389
合 計	12,242	0	6,870

5) 骨髄バンク事業推進

勇気の会四日市支部の協力を得て、事業に対する意識の普及啓発に努めるとともに、骨髄提供希望者（ドナー）の登録受付を実施した。

(1) 骨髄バンクの普及啓発

平成20年10月19日 啓発資材の配布

(2) ドナー受付窓口の設置

ドナー登録受付窓口の開設

- ・平成 20 年 7 月 29 日 近鉄四日市駅前ふれあいモールで実施 ドナー登録受付：1 名
- ・平成 20 年 12 月 21 日 日永カヨーショッピングセンターで実施 ドナー登録受付：1 名
- ・平成 21 年 1 月 29 日 近鉄四日市駅前ふれあいモールで実施 ドナー登録受付：1 名
- ・四日市献血ルーム「サンセリテ」において実施（平成 20 年度） ドナー登録受付：72 名

6) 薬事法等に基づく指導

薬局及び医薬品販売業者に対し、薬局等構造設備規則の遵守指導、勤務薬剤師の店舗管理指導を行った。

毒物劇物登録業者及び業務上取扱者に対し、毒物及び劇物取締法による遵守指導を行った。

麻薬施用機関に対し、麻薬及び向精神薬の取扱管理の適正化指導を行った。

(1) 薬務六法に基づく施設数及び監視数

平成 20 年度

業 種		事 項	許可・届出数	監視数
医 薬 品	薬 局		143	68
	製 造 業	専 業		
		薬 局	27	10
	製 造 販 売 業	第 1 種		
		第 2 種		
		薬 局	27	10
	一 般 販 売 業		9	8
	卸 売 一 般 販 売 業			
	薬 種 商 販 売 業		26	8
	特 例 販 売 業		15	7
業 務 上 取 り 扱 う 施 設			22	
医 薬 部 外 品	製 造 業			
	製 造 販 売 業			
	販 売 業			93
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			17
化 粧 品	製 造 業			
	製 造 販 売 業			
	販 売 業			83
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			9
医 療 機 器	製 造 業			
	専 業 修 理 業			

	製造販売業	第 1 種		
		第 2 種		
		第 3 種		
	販 売 業	高度管理医療機器等	113	72
		管理医療機器	1262	109
		一般医療機器		121
	賃 貸 業	高度管理医療機器等	52	32
		管理医療機器	34	31
		一般医療機器		44
業 務 上 取 り 扱 う 施 設			22	
毒物劇物	製 造 業	大 臣		
		知 事		
	輸 入 業	大 臣		
		知 事		
	一 般 販 売 業		203	88
	農 業 用 品 目 販 売 業		38	1
	特 定 品 目 販 売 業		8	0
業 務 上 取 扱 者	電 気 メ ッ キ	3	0	
	運 送 業	18	0	
麻 薬	卸 売 業			
	小 売 業			34
	病 院		13	19
	一 般 診 療 所		247	1
	家 畜 診 療 所		28	0
	研 究 者			
大 麻 研 究 者		0	0	
覚せい剤	施 用 機 関			2
	原 料 取 扱 者			53
	原 料 研 究 者			
総 数		2266	964	

結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供かつ確実な治療支援及び接触者に対する健康診断の実施を通して、結核の蔓延防止に努めた。

また、結核の発生防止のため、予防接種・定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を進めることで、結核予防を図った。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数(活動性分類・年齢階級別)

平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日

分類別 年齢	活 動 性 結 核							肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)	非結核性抗酸菌症(別掲)
	総数	肺 結 核 活 動 性					菌陰性その他			
		総数	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性					
			総数	初回治療		再治療				
総数	41	32	14	12	2	8	10	9	7	4
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0
30～39	7	6	3	2	1	0	3	1	2	0
40～49	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0
50～59	6	4	2	1	1	1	1	2	1	0
60～69	3	3	1	1	0	1	1	0	0	1
70～	21	16	8	8	0	5	3	5	1	3

(2) 新登録患者数・罹患率の推移 ()は、感染性肺結核の再掲

四日市市	平成 20 年	平成 19 年	平成 18 年
新登録患者数	41 (14)	54 (21)	75 (29)
罹患率	13.0	17.2	24.0

(3) 年末現在登録者数(活動性分類・受療状況別)

平成20年12月31日現在

分類別 区分	総数	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)	非結核性抗酸菌症(別掲)
		登録時喀痰陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他					
		初回治療	再治療							
総数	96	11	2	4	7	8	59	5	6	0
入院	5	2	1	1	0	1	0	0	0	0
外来医療	27	9	1	3	7	7	0	0	4	0
医療なし	63	0	0	0	0	0	59	4	2	0
不明	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症予防法第37条の2申請状況(一般患者に対する医療)

平成20年1月1日～平成20年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	自費
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
申請件数	51	13	5	11	0	0	14	4	4
合格件数	51	13	5	11	0	0	14	4	4
承認件数	51	13	5	11	0	0	14	4	4

(2) 感染症予防法第37条申請状況(入院患者の医療)

平成20年1月1日～平成20年12月31日

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除申請
申請件数	67	21	46	0	21
合格件数	67	21	46	0	21
承認件数	67	21	46	0	21

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

平成20年1月1日～平成20年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護	自費
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
平成19年末現在	4	0	1	0	0	0	3	0	0
承認件数	21	2	0	6	1	0	10	1	1
解除件数	21	2	0	4	1	0	12	1	1
平成20年末現在	4	0	1	2	0	0	1	0	0

3) 結核検診

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況

平成20年度

区分 対象別	実施者数	予防接種		QFT検査		間接撮影 (直接撮影)		
		6ヶ月 未満	1歳 未満	受診者数	感染者数	受診者 数	患者発見数	
定期	総数	19,844	2,812	24	/	9,809 (7,335)	0	
	事業所	7,344	-	-	/	1,554 (5,790)	0	
	学校	4,571	-	-	/	4,417 (154)	0	
	施設	1,610	-	-	/	355 (1,255)	0	
	一般住民	6,319	2,812	24	/	3,483 (0)	1	
定期外	総数	179		*2	63	6	(114)	1
	患者家族	85		*2	19	2	(64)	1
	その他	94		0	44	4	(50)	0
管理検診	22					(22)	0	

* ツベルクリン反応検査

4) 結核健康相談開催

(1) 結核接触者健診及び管理健診

毎月第1・3木曜日定例開催 年間24回

総受診件数 197 件

(2) 保健指導

随時

訪問指導件数 147 件

所内面接 127 件

電話・文書等 301 件

5) DOTS事業

(1) 四日市社会保険病院とのDOTSカンファレンス開催

毎月1回定例開催 年間12回

(2) 三重中央医療センターとのDOTSカンファレンス開催

不定期 年間3回

(3) DOTS支援対象者数 14名

面接DOTS 3名

連絡確認DOTS 11名

郵送DOTS 2名

地域精神保健福祉対策

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他、精神的健康の保持増進に努めた。

1) 精神障害者保護取扱状況

	申請・通報件数						通報等による調査結果の処理		指定医診察結果		措置非該当の場合の結果	
	計	法23条	法24条	法25条	法26条	法26条の2	鑑定必要	鑑定不要	措置該当	措置非該当	医療保護入院	その他
平成20年度	30	1	28			1	29	1	10	19	6	13
平成19年度	12		12				12		3	9	2	7
平成18年度	16	1	14	1			12	4	3	9	5	4
平成17年度	14	2	11		1		12	2	8	4	3	1
平成16年度	19	1	14	3	1		18	1	12	6	3	3

平成19年度までは三重県四日市保健所の数値

2) 病名別・措置入院者数

	総数	統合失調症	そううつ病	心因反応	非定型精神病	急性そう病	人格障害	覚醒剤中毒	アルコール依存症	その他
男性	6	3					1			2
女性	4	2					1			1
総数	10	5					2			3
平成20年度措置患者	10	5					2			3

3) 地域精神保健福祉対策事業

(1) 精神保健福祉相談

精神疾患やその治療・対応等についての相談指導に応じ、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図る。また、医療を必要とする精神障害者に対する適切な医療施設の紹介をする。

医師による精神保健福祉相談

対 象 本人・家族・その他
 周知方法 四日市市広報掲載
 場 所 県四日市庁舎
 回 数 原則 毎月第4金曜日 年12回
 スタッフ 精神科医師・保健師
 結 果

()内は平成19年度

総相談件数		35件 (40件)	治療状況	
相 談 者	本人	6件 (11件)	治療中	未治療
	家族・本人	6件 (12件)	11件 (14件)	24件 (26件)
	家族のみ	20件 (15件)		
	関係者 (民生委員・介護事業者等)	3件 (2件)		

保健師等による精神保健福祉相談

対 象 本人・家族・その他
 場 所 県四日市庁舎
 スタッフ 保健師等
 結 果

()内は平成19年度

総相談件数		555件 (554件)
面 接	延 127件 (139件)	実人員 81件 (86件)
電 話	延 428件 (415件)	実人員 152件 (201件)

家庭訪問

対 象 本人・家族・その他
 スタッフ 必要に応じて精神科医師・保健師等
 結 果

()内は平成19年度

総訪問件数		104件 (68件)
精神科医師と同行	延 6件 (2件)	実人員 6件 (2件)
保健師	延 98件 (66件)	実人員 24件 (32件)

(2) デイケア「金よう会」

退院後の精神障害者に対して、社会復帰と生活の自立促進のため、憩いや仲間との交流の場の提供を行った。

対 象 本人
場 所 県四日市庁舎
回 数 原則 毎週金曜日
スタッフ 保健師・ボランティア他
結 果

総参加者数	延 268 人 (実人員 8 人)	
プログラム (第 1・3 金曜日)	年 22 回開催	延 137 人参加
フリ - スペ - ス (第 2・4 金曜日)	年 24 回開催	延 131 人参加

(3) 精神保健福祉講座

こころの病気に対する無理解・偏見・差別の解消のため、病気や精神障害に関する正しい知識の普及啓発を行い、精神障害者を地域で支える体制づくりのリーダーを養成した。

対 象 受講申し込みした市民
場 所 県四日市庁舎
回 数 年 5 回
4 回以上出席者には終了証書を授与
内 容

	日 時	内 容	講 師
1 回 目	11月18日(火) 午後 2:00 ~ 3:30	講義 「身近な精神疾患について」 高齢者の精神疾患・統合失調症・うつ病 等	三重県こころの健康センター - 所 長 崎山 忍 医師
2 回 目	11月26日(水) 午後 2:00 ~ 3:30	傾聴体験 「こころで人の話を聴く方法とは」	三重県こころの健康センター - 江場 加奈子 臨床心理士
3 回 目	12月 5日(金) 午前 10:00 ~ 11:30	講義 「地域の精神保健福祉の実態を知ろう」 ビデオ鑑賞 「あせらず ゆっくり ゆとりをもっ て」 当事者との交流	四日市市保健所保健師

4 回 目	1月14.19.26日 (いずれか1日) 午前 10:00 ~ 12:00	施設見学 「市内の精神福祉施設を知ろう」	施設職員
5 回 目	2月4日(水) 午後 1:30 ~ 2:30 午後 2:30 ~ 3:30	講義 「精神障害者家族からのメッセ - ジ」 ボランティアとの交流 「ボランティア活動の紹介と体験発表」	家族会 「ほうれん草の会」会長 精神保健福祉ボランティア 「ハートフル会」会員

結 果

総参加人数	397人(実人員101人)
-------	---------------

(4) 地域家族会支援

地域で精神障害者の家族が共に助け合い生活していくため、家族会に対して支援を行った。

対 象 地域家族会「ほうれん草の会」

支援回数 年 10回

内 容 定例会の出席

(5) 精神保健福祉ボランティア(ハートフル会)支援

地域において精神障害者等を支えるボランティアに対して、活動の支援を行った。

対 象 精神保健福祉ボランティア(ハートフル会)

支援回数 年 4回

内 容 定例会の出席

(6) 医療観察法に基づいたケア会議

心神喪失又は心神耗弱の状態、重大な他害行為を行った精神障害者に対して、医療の保護と社会復帰の促進のため、保護観察所が主催するケア会議に出席し、地域支援を行った。

対象件数 1件

ケア会議出席回数 10回

難病対策

国が指定した 45 の特定疾患を、治療研究事業の対象とした医療費の給付制度があり、治療費の自己負担の軽減が図られている。四日市市では、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行った。

1) 特定疾患医療受給者証認定状況

単位：件

		平成 18 年度末	平成 19 年度末	平成 20 年度末
1	ベ ー チ ョ ッ ト 病	3 5	3 5	3 6
2	多 発 性 硬 化 症	3 7	3 9	4 0
3	重 症 筋 無 力 症	2 8	2 8	2 9
4	全 身 性 エ リ テ マ ト - テ ー ス	1 1 6	1 2 3	1 2 8
5	ス モ ン	7	7	7
6	再 生 不 良 性 貧 血	1 6	1 6	1 9
7	サ ル コ イ ド - シ ス	4 2	4 9	5 4
8	筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症	2 3	2 4	2 9
9	強 皮 症 ・ 皮 膚 筋 炎 及 び 多 発 性 筋 炎	1 5 6	1 5 8	1 7 5
		平成 18 年度末	平成 19 年度末	平成 20 年度末
10	特 発 性 血 小 板 減 少 性 紫 斑 病	8 1	8 7	1 0 2
11	結 節 性 動 脈 周 囲 炎	9	1 0	1 5
12	潰 瘍 性 大 腸 炎	2 3 4	2 5 5	3 0 5
13	大 動 脈 炎 症 候 群	7	6	7
14	ビ ュ ル ガ ー 病	1 5	1 4	1 4
15	天 疱 瘡	6	7	8
16	脊 髄 小 脳 変 性 症	4 3	4 8	4 9
17	ク ロ ー ン 病	6 8	7 0	8 6
18	難 治 性 の 肝 炎 の う ち 劇 症 肝 炎	0	0	0
19	悪 性 関 節 リ ウ マ チ	1 6	1 4	1 6
20	パ ー キ ン ソ ン 病 関 連 疾 患	2 3 5	2 5 7	2 9 4
21	ア ミ ロ イ ド - シ ス	4	3	2
22	後 縦 靱 帯 骨 化 症	7 8	6 9	8 8
23	ハ ン チ ン ト ン 病	3	2	2
24	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	2 6	2 8	3 5
25	ウ エ ゲ ナ ー 肉 芽 腫 症	5	4	6
26	特 発 性 拡 張 型 (う っ 血 型) 心 筋 症	9 4	9 4	1 0 3
27	多 系 統 萎 縮 症	2 4	2 4	2 9
28	表 皮 水 疱 症 (接 合 部 型 及 び 栄 養 障 害 型)	2	2	2
29	膿 疱 性 乾 癬	6	6	5

30	広範脊柱管狭窄症	4	4	4
31	原発性胆汁性肝硬変	65	66	70
32	重症急性膵炎	1	0	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	35	34	40
34	混合性結合組織病	19	21	24
35	原発性免疫不全症候群	3	2	2
36	特発性間質性肺炎	11	10	13
37	網膜色素変性症	27	26	32
38	プリオン病	2	2	2
39	原発性肺高血圧症	3	5	6
40	神経繊維腫症	7	10	10
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
42	バット・キアリ症候群	1	1	1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症	2	2	2
44	ライソゾーム病	4	6	7
45	副腎白質ジストロフィー	1	1	1
	合計	1601	1669	1901

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関との連携を図り、個々の患者・家族のQOLの向上に視点をあいたケアを展開し、地域支援体制を整備した。

ケア検討会の開催

事例	検討内容	回数	出席者
筋萎縮性側索硬化症	患者の病状・身体症状ケア、支援者間の連携 等	16回	地域主治医・看護師・ケアマネ・ジャー・訪問看護師・ヘルパー・保健師等

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行った。

家庭訪問

病名	実人数	延人数
筋萎縮性側索硬化症	13	25
脊髄小脳変性症	1	4
計	14	29

来所相談

実人数	延人数
20	26

電話相談

実人数	延人数
11	40

(3) 訪問看護師等育成事業

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修及び情報交換を行った。

(4) 難病研修会

日時・場所	内容	対象者	参加数
平成 21 年 2 月 9 日(月) 19:30～21:30 四日市庁舎	笹川内科胃腸科クリニック院長 山中 賢治医師 パネルディスカッション(ケアマネ - ジャ - ・訪問看護師・ヘルパ -)	ヘルパ - ・訪問看護師・ケアマネ - ジャ -	53 名
平成 20 年 12 月 12 日(金) 13:30～16:30 国立病院機構鈴鹿病院 (北勢ブロックとして開催)	疾患と看護の理解についての講義 病棟実習・連携のためのディスカッション	訪問看護師	16 名

(5) 医療相談事業

疾患名	日時・場所	内容	参加者数
後縦靭帯骨化症 広範脊柱管狭窄症 特発性大腿骨頭壊死 (北勢ブロックとして開催)	平成 20 年 10 月 29 日(水) (14:00～16:00) 四日市市立労働福祉会館	講演「整形外科における難病の治療～病院での治療の意味と症状のとの付き合い方について～」 四日市社会保険病院 森下 浩一郎医師 医療相談 四日市社会保険病院 森下 浩一郎医師	患者家族 43 名 (四日市市の参加 19 名)

潰瘍性大腸炎 クローン病 (北勢ブロックと して開催)	平成 20 年 11 月 12 日(水) (13:30 ~ 16:00) 四日市社会保険病院	講演「炎症性腸疾患の内科的外科 的治療」 四日市社会保険病院外科医長 山本 隆行医師 「炎症性腸疾患の食事について」 四日市社会保険病院管理栄養 士 中東 真紀栄養士 医療相談・食事指導 四日市社会保険病院 山本医師・中東管理栄養 士	患者家族 59 名 (四日市市の参 加 30 名)
--	---	--	------------------------------------

3) 災害時訓練への支援

人工呼吸器を装着した在宅の重症難病患者の生命を維持するため、近隣の住民による円滑な支援ができるよう避難訓練を行った。

日時・場所	内容	参加者数
平成 20 年 11 月 2 日(日) 9:00 ~ 12:00 市立四郷小学校	講義 「ALS 患者の症状及び避難支援 について」	50 名
平成 20 年 11 月 16 日(日) 9:00 ~ 12:00 高花平小学校	講師 笹川内科胃腸科クリニック 山中 賢治院長 災害時要援護者と地域支援者との避難	39 名
平成 20 年 11 月 30 日(日) 9:00 ~ 12:00 波木南台集会所	訓練 訓練参加者意見とりまとめ(感想を発 表)	20 名

感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法という。）に基づき、感染症の発生予防及び感染防止拡大に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進した。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行なった。

1) 感染症サーベイランス

感染症の発生状況を把握するため、三重県及び国（厚生労働省）とコンピューターのオンラインシステムで情報共有をし、感染症情報を迅速に収集・分類し対応した。

(1) 一類・二類・三類感染症発生状況（二類：結核以外）

	二類感染症			三類感染症				
	重症急性呼吸器症候群	急性灰白髄炎	ジフテリア	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成 20 年度	0	0	0	0	0	9	0	0

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの）

	四類感染症		五類感染症					
	ツツガムシ病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	肝炎* ウイルス性	後天性免疫不全症候群	梅毒	風しん	麻しん
平成 20 年度	2	7	1	1	4	3	5	9

* ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎除く）

(3) 行政検査実施状況（腸管出血性大腸菌感染症以外は、三重県保健環境研究所にて実施）

	腸管出血性大腸菌感染症疑い	鳥インフルエンザ疑い*	麻しん疑い	デング熱疑い	本紅班熱疑い ツツガムシ病（日本紅班熱疑い）	マラリア疑い
平成 20 年度	4	1	14	1	2	1

* 鳥インフルエンザ : H5N1

2) 麻しんの集団感染について

市内大学にて5月下旬から学内において集団感染があった。学生の発病者は9名(学生総数991名)職員の発病者はなかった。大学による早期休校措置、緊急ワクチン、外部専門家による対策会議が効果的であり大規模な集団感染が防止され、6月23日に終息宣言を出した。今後の感染予防について、各学校や教育委員会等と連携して、麻しんワクチンの接種率向上を図るため、積極的な接種勧奨を行った。

3) 衛生教育

感染症予防のための広報・ホームページ・チラシの配布を行った。自治会や企業、学校PTA、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施した。

	平成20年度
回数	30
延人員	1394

4) 特定感染症検査(HIV除く)の実施

	平成20年度		
	計	男	女
梅毒	478	286	192
B型肝炎	494	284	210
C型肝炎	517	287	230

B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

5) 肝炎インターフェロン治療費助成受給者証認定状況

本制度は、B型肝炎及びC型肝炎ウイルスの除去を目的にインターフェロン治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度である。四日市市では、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行った。

平成21年3月31日現在認定者数 103名

エイズ対策

感染者・患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行った。

1) 保健所における HIV 抗体検査数

	平成 20 年度
検査数	482
(夜間再掲)	(143)

参考：平成 19 年度四日市保健所検査実績 408 件

2) 相談件数

	平成 20 年度	
相 談	電話	来所
	111	1

検査来所時の相談は含まず

3) 地域特別対策事業

(1) 四日市看護医療大学における看護学生と養護教諭を対象に HIV 講習会を開催

日 時	内 容	対 象 者	参 加 数
平成 20 年 9 月 5 日(金) 13 時 30 分 ~ 15 時 30 分	講演「自分で守ろう、いのち・心・からだ ~ 感染症から身を守る方法 ~」 講師： MC サポートセンター みっくみえ 代表 松岡典子 先生 保健所保健師	・看護学生 1 年生 ・市内養護教諭	109

4) 啓発活動

(1) エイズ検査普及週間(6/1~6/7)に合わせた啓発活動を実施

- ・ポスター配布約 50 部
(市内小・中学校、健康企画課、税務理財部管財課、市民文化部等)
- ・夜間検査の追加実施、広報掲載、HP 掲載

(2) エイズデー(12/1)に合わせた啓発活動を実施

- ・街頭啓発実施 日時：平成 20 年 12 月 1 日(月) 7:30 ~ 8:30
近鉄四日市駅前では若者を中心にティッシュを配布し呼びかけ実施(1200 個)

- ・ポスター配布約50部
(市内小・中学校、健康企画課、税務理財部管財課、市民文化部等)
- ・夜間検査の追加、広報掲載、HP掲載
- * 県立総合医療センターのイベント時に、エイズデー啓発活動を実施しているため、ティッシュ、パンフレット、ポスター等を配布した。

(3) その他

- ・HIV 予防啓発パネルを作成し、関係機関への貸し出しを可能とした。
- ・エイズ予防財団等から配布されるポスターの配布等

医療費助成

1) 未熟児養育医療(未熟児対策)

出生時体重 2,000g 以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行った。

	申請・給付件数
平成 20 年度	82
平成 19 年度	75

2) 自立支援医療(育成医療)(身体障害児対策)

本制度は、身体に障害があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度である。四日市市では、受給資格の認定を行った。

	申請件数
平成 20 年度	125
平成 19 年度	161

3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

本制度は、小児慢性疾患のうち、国が指定した 11 の特定疾患に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度である。四日市市では、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行った。

	平成 20 年度	平成 19 年度
総 数	207	219
1 悪性新生物	32	45
2 慢性腎疾患	16	18
3 慢性呼吸器疾患	3	0
4 慢性心疾患	23	26
5 内分泌疾患	67	72
6 膠原病	6	8
7 糖尿病	13	10

8 先天性代謝異常	14	11
9 血友病等血液疾患	8	7
10 神経・筋疾患	13	6
11 慢性消化器疾患	12	13

4) 三重県特定不妊治療助成事業

本制度は、不妊治療のうち体外受精及び顕微授精を受けたご夫婦に対し、その費用の一部を助成する制度である。四日市市では、申請の受付、三重県桑名保健福祉事務所への経由事務を行った。

	申請件数
平成20年度	216
平成19年度	203

栄養指導事業

1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、特定多数の人に対して継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導をした。

(1) 給食施設巡回指導 (件)

		平成20年度	平成19年度
学校	特定給食施設指導数	0	0
	一般給食施設指導数	0	0
病院老人保健施設	特定給食施設指導数	12	12
	一般給食施設指導数	10	10
児童福祉施設	特定給食施設指導数	3	3
	一般給食施設指導数	10	10
社会福祉施設	特定給食施設指導数	0	0
	一般給食施設指導数	5	5
事業所	特定給食施設指導数	9	9
	一般給食施設指導数	0	0

(2) 給食施設研修会

実施日	実施場所	参加者数	内容
平成21年1月29日	四日市庁舎	63名	講義 「新たな時代を迎えた従業員食堂」 ～職員の健康づくりの場としての活用～ 講師 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム

			国民健康・栄養調査プロジェクトリーダー 由田 克士氏 行政説明 「給食施設実態調査の結果について」 四日市市保健所保健予防課 栄養指導員
平成 21 年 2 月 27 日	四日市庁舎	3 5 名	講義「給食施設における栄養管理」 ～ 食事摂取基準の活用～ 講師 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部医学栄養学科 准教授 堀田 千津子氏 行政説明 「健康増進法に基づく給食施設指導について」 四日市市保健所保健予防課 栄養指導員

2) 栄養表示基準等に関する相談

健康増進法第 26 条、第 31 条、第 32 条に基づき、食品の表示等に関する相談を実施した。
栄養表示基準等に関する相談件数 (延べ相談件数)

	平成 20 年度	平成 19 年度
特別用途食品	1	1
栄養表示基準	20	18
栄養機能食品	1	2

3) 栄養士職域ネットワーク研修会

市民の食環境を整え、健康づくりを推進するため、市内の管理栄養士、栄養士の情報共有と食環境づくりへの意識の向上を目的に研修会を実施した。

実施日	実施場所	参加者数	内容
平成 20 年 7 月 2 日	四日市庁舎	55 名	講義 「コーチングスキルを身につけよう」 ～ より効果的な栄養指導を目指すために～ 講師 三重県職員研修センター 筒井 昭仁氏

食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第14条に基づき、四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査実施。人畜共通感染症等の疑いがある時は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の精密検査を実施し、合否判定を行っている。

と畜検査頭数 (平成20年度)

牛	豚
5,105頭(とく 6頭含む)	79,179頭

2) 食鳥検査

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第38条に基づき実施される事業で認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行っている。

認定小規模処理施設数	7施設
監視件数	15件
収去検査件数	6件

3) 食肉安全対策

食肉処理工程、枝肉及び冷蔵庫等の細菌汚染調査を行い、検査結果に基づき、と畜場の衛生指導及び従業員の衛生教育を実施

細菌汚染調査 (平成20年度)

検査項目	検査件数
腸管出血性大腸菌(O157)	180件
サルモネラ	267件
一般生菌数	472件
大腸菌群数	472件
合計	1391件

2. 試験検査

1) 牛海綿状脳症(BSE)検査

平成13年10月18日から、と畜場に搬入され食肉処理される全ての牛についてBSEの検査を実施している。まず、迅速スクリーニング検査(一次検査)を行い、そのうちBSEが疑われる検体について、厚生労働省に報告し、国の機関で確認検査(二次検査)を実施している。

2) 畜水産食品残留有害物質検査

食肉及び鶏肉の残留抗菌性物質の検査を実施している。その結果に基づき家畜保健衛生所と協力して、生産者に抗菌性物質などの適正使用を指導し、安全な食肉の供給を図っている。

(平成 20 年度)

検査項目	検査件数
抗生物質	698件
合成抗菌剤	35件
テトラサイクリン類	35件
内寄生虫薬	20件
農薬	10件
合計	798件

国国国国国国

・ 事の概

市の国国国国国は地地地地国とと市国の国国国健と福福の向向に大きき役を果たときたとし、高高の進進と増増す地地医、た他の国国と比比とと年年年者や低低者の増加役加も高い、国国国国国財財はは迫とた状にあたす

このこき中、自らの国国に関関をもを、国国きの日を送はとたつたに、平平22年年し始たは特特国国特特・特特国国特特の周知に努い、年特受受の向向に取あ組むととも、脳ドドや市の国国低(国国健健)が実実す各各が検特ききの助平を進い、生活活活←きの疾←i /活活を進い、国国増加者の国国健健・向向に努いしたす。

・ 平平 21 年年年年 i 算

(単単:千千)

歳加		歳歳	
国国国国国国	8,222,455	総総医	369,092
――一年	4	国国年中医	19,956,702
国国国歳年	5,098,261	後後高高者国後年受	3,240,206
地と年中医受費中年	2,658,631	前後高高者前中年受	4,927
前後高高者費中年	6,537,737	老老国国老歳年	808,374
県国歳年	987,215	介介前中年	1,253,139
共共事費中年	2,956,455	共共事老歳年	2,912,567
財財財加	991	国国事医	373,287
繰加年	2,057,221	基基基年	991
繰繰年	501	公公医	1,500
諸財加	59,529	諸国歳年	28,733
		i 備医	3,000
加 計	28,579,000	加 計	26,579,000

・ 増加状状(実実)

(各年年Wb現現)

年年	老人	世世数	国 国 世世数	被 国 国 者 数			
				老老	――	退退者	加計
H 17	310,710	120,273	54,759	23,532	56,692	22,163	102,387
H 18	311,904	122,284	55,099	22,611	55,663	23,635	101,909
H 19	313,495	124,587	54,859	22,401	53,409	24,350	100,160
H 20	313,963	126,231	42,927	・	71,976	4,254	76,230

・ 国国年中状状(実実)

年 年		一老年たあ 地との年中・ 地と医N高 (千)	地との年中地と 医国国者一一・ 老老老歳年 (千千)	高高地と医		歳財出出一出年		葬葬医	
				件数 (件)	年 高 (千千)	件数 (件)	年 高 (千千)	件数 (件)	年 高 (千千)
H 17	一一	204,021	8,498,954	10,700	886,471				
	退退	365,429	5,816,919	6,030	485,133				
	老老	761,756	4,541,910						
	全全	368,492	18,857,783	16,730	1,371,604	462	138,600	1,748	87,340
H 18	一一	208,222	8,619,187	11,107	935,544				
	退退	368,274	6,484,533	7,303	504,704				
	老老	775,744	4,313,382						
	全全	371,960	19,417,101	18,410	1,440,247	471	150,500	1,641	82,050
H 19	一一	218,323	8,771,645	12,317	967,524				
	退退	383,206	7,159,907	8,460	504,628				
	老老	807,831	4,504,923						
	全全	388,093	20,436,474	20,777	1,472,152	441	154,300	1,741	87,050
H 20	一一	266,976	14,095,360	22,531	1,451,235				
	退退	509,618	1,695,408	3,388	218,364				
	老老	・	749,889						
	全全	281,479	16,540,657	25,919	1,669,598	393	139,110	519	25,950

地 と の 年 中 - 地医が特地在印〇と認いた治地医の現現年中(事総向の疾←を除)。)

特地、薬薬、治地治国、処処、その他の治地、看介。

地 と 医 - 緊緊の地也を低き事事で地との年中を年加が困難場受の年中。

国国保が使えるはとき 柔柔柔柔医・鍼鍼マササの実施、看介、移送、治地N装装。

高 高 地 と 医 - 地地医一が特の限年高を超えとき 申申に、超え高国年(該年者は、事前に通知)。

歳財出出一出年 - 被国国者が歳財ととき 350,000 千(平成 21 年 1 月 1 日ら 380,000 千に引き向け)を国年。

葬 葬 医 - 被国国者が死尸ととき 50,000 千を葬葬葬進老に国年。

・ 国国国保健財前状(平 平 20 年年実実)

		年 間		
		地 地 分	後 後 国 後 分	介 介 分
保 健 後 日		4月1日		
国 国 国 受	低 低 役	1000 分 の 77	1000 分 の 14	1000 分 の 22
	均 受 役	33,000 千	6,800 千	9,900 千
	平 受 役	24,100 千	4,900 千	7,200 千
国 国 国 保 高 限 年 高		470,000 千	120,000 千	90,000 千
前 中 回 数 ・ 前 後 日		9回・ヵ月Wb(12月 の 22日)		
前 中 方 ⇒		自 自 前 中 ・ 人 口 口 口 ・ 特 特 特 財 (年 年)		
国 国 国 年 平 均 一 一		1世 世 年 々 197,806 千	1老 年 々 110,972 千	
		(地 地 分) 151,006 千	84,717 千	
		(後 後 分) 29,491 千	16,545 千	
		(介 介 分) ———	27,585 千	

・ 国国国保保状状 <地地分>(平 平 20 年年実実)

7役保保.....前年低低が33 Hg千円円の世世に対と国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 9,455 世世 12,926 老 444,660,600 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+24.5 Hg千×被国国者数(前中義総者を除っ)円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ
 平受役の役を保高
 1,604 世世 3,423 老 72,091,500 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+35 Hg千×被国国者数円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 4,350 世世 7,349 老 66,253,800 千

・ 国国国保保状状 <後後分>(平 平 20 年年実実)

7役保保.....前年低低が33 Hg千円円の世世に対と国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 9,455 世世 12,926 老 91,351,610 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+24.5 Hg千×被国国者数(前中義総者を除っ)円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ
 平受役の役を保高
 1,604 世世 3,423 老 14,825,650 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+35 Hg千×被国国者数円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 4,350 世世 7,349 老 13,618,680 千

・ 国国国保保状状 <介介分>(平 平 20 年年実実)

7役保保.....前年低低が33 Hg千円円の世世に対と国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 3,801 世世 4,254 老 48,637,260 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+24.5 Hg千×被国国者数(前中義総者を除っ)円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ
 平受役の役を保高
 739 世世 1,001 老 7,615,350 千

2役保保.....前年低低が33 Hg千+35.0 Hg千×(被国国者数)円円の世世に対と 国国国の均受役均ひ平受役の役を保高
 1,781 世世 2,214 老 6,948,360 千

国国事(算)

「高者地の地確国に關す一律」の改改に、平 平 19 年年たて実実といた国国総加検特に、平 平 20 年年に地地

特、国国事受) としたが L 市でも国国の特財や資資年中に申申年中事総を一年とす。

平平 21 年年年年 i 算

(単単: 千千)

歳加		歳歳	
後後高高者地地国国国	1,834,418	総総医	91,520
使 N 国均ひ手数国	1	後後高高者地地後地後加前中年	4,009,677
寄中年	1	公公医	200
線加年	2,250,163	諸国歳年	1
諸財加	18,016	i 備医	703
加 計	4,102,600	加 計	4,102,600

増加状状

(年年Wb現現)

年年	老人	世世数	被国国者数
H22	313,963	126,231	28,673

- ・第2号被国国者(年国し年国国国を天引)
サカサミ、き社社役低権総と厚生年年 共共組加増比と老
- ・第3号被国国者(国国年年国国国を人にさとも前中とし扱います)
サカサミに▲とと地 妻(mVは!)
(▲とと地 場加は 第1号被国国者とさ)

国国年年国国国の推移

(単単:千)

年 年	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21
国国国(月高)	13,580	13,860	14,100	14,410	14,660

中増年年増加者は400 千増算

福福年年

老高福福年年.....明治 44 年 4 月 1 日 前生たた公目年年を年けけ老が70 才し年年
 平平 21 年年国年高 405,800 千

障障基基年年.....障障福福年年し移進、年年年者の低低にあ全一国年全全の場加があ
 平平 21 年年国年高 1級 990,100 千
 2級 792,100 千

適ニ状状

(単単:老)

年 年	第 1 号 被国国者	任意 増加者	第 3 号 被国国者	加計	国国国免除者	
					⇒特	申申
H 16	46,616	610	31,272	78,498	2,217	5,721
H 17	45,721	621	31,200	77,542	2,315	6,788
H 18	44,384	636	31,132	76,152	2,331	7,344
H 19	42,326	706	30,632	73,664	2,276	7,523
H 20	41,623	717	30,046	72,386	2,289	7,015